



国分寺小 校長室だより

しい こ かげ

椎の木陰

第26号 令和8年3月9日 文責 石島 直



早いもので3月になり、令和7年度も残り1か月を切りました。朝夕の冷え込みもめっきり減り、日に日に暖かさを感じるようになりました。インフルエンザ等の感染症でお休みする児童も減少し、子供たちの元気に活動する姿がたくさん見られるようになりました。6年生にとっては小学校の生活もカウントダウンが始まり1日1日を大切に過ごす姿が見られます。また、1年生から5年生の様子を見ても、進級に向けて意欲的に行動する姿が見られています。学校では1日1日、1時間1時間を大切に生活していこうと話をしていきます。ご家庭でも進級に向け子供たちの頑張りをたくさん認めて褒めていただけると幸いです。

6年生が奉仕作業を行いました。

2月25日(水)5校時に6年生による奉仕作業が行われました。各教室の扇風機の掃除、東西の昇降口の窓掃除、理科室・家庭科室の掃除を計画し実行しました。雨で天候が思わしくなかったのですが、室内での作業ということで与えられた場所で数人体制で掃除のやり方などを相談しながら進めていました。普段、なかなか手が届かない教室の扇風機の羽根やカバーを各担任が事前に外しておき、それらを各教室前の水道を使って黙々と進めていました。東西の昇降口は、曇りガラスのようだったのが透明なガラスのようになりました。理科室、家庭科室は水道周りを中心に

頑張ってくれました。お陰様で学校がとてもきれいになりました。ありがとうございました。



久々の雨の日、室内で楽しく過ごしていました。

2月25日(水)、久しぶりに朝から雨が降り続き、子供たちは業間、昼休みと室内で過ごしました。特にこの日は清掃なしのロング昼休みだったこともあり、学級で過ごす子供たちが多く見られました。1年生では、昔遊びの道具を使って、お手玉やおはじき、こま回しやカルタを行っているクラスがありました。その他の学年では、机を後ろに寄せ、フルーツバスケットや椅子取りゲーム、犯人を探せなどで盛り上がっている学級もありました。雨の日グッズを利用し、将棋やオセロ、トランプやウノなどのカードゲームを対戦している学級もありました。また、図書室や教室で静かに読書をしている子供たちもいました。落ち着いて生活している子供たちの姿がたくさん見られました。

新登校班長副班長会議を行いました。

2月27日(金)の業間に新登校班長副班長会議を体育館に行いました。6年生の卒業後、そして次年度の登校班の班長・副班長として、登下校時のルールを守り班の人たちの先頭に立って活動を行う前に会議を行っています。体育館に集まった子供たちは、班長は緑、副班長は水色のシールを渡されその後、担当の教員から「ここに集まっている人たちは、地域の方から推薦された班長・副班長である。自覚を持ち、地域の人たちから信頼されるためにもしっかりと活動してほしい。」という話を聞きました。3月10日(火)から新登校班での登下校となります。それまでは、現在の班長や副班長の仕事ぶりをしっかりと見て、学んでほしいと思います。



国分寺小学校ホームページのアドレスは以下のとおりです。ご覧ください。
http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/kokusho/index.html



国分寺中央コミュニティーふれあいまつりが行われました。

3月1日(日)、国分寺公民館でふれあいまつりが行われました。開会式の後、ステージでは小金井子供お囃子会によるお囃子や国分寺中学校吹奏楽部による演奏が行われました。プログラムには、本校による合唱も書いてありましたが、クラブ活動も終了しており、インフルエンザ等の感染症も心配だったことから参加を見送りました。小金井子供お囃子会では、本校の子供たちが一生懸命、そして楽しそうに演奏していました。また、国分寺中学校吹奏楽には、本校を卒業した生徒もおり素敵な演奏を響かせていました。駐車場では、消防車やパトカー、自衛隊の車などが展示されていたり、キッチンカーなどもあり、本校の児童もたくさん来ていました。



3年生珠算教室を行いました。

3月2日(月)と3日(火)の2日間、3年生が珠算教室を行いました。そろばんを見るのが初めてという児童が多く、講師の珠算連盟の方から、そろばんの使い方を教わりました。親指と人差し指の使い方を確認したり、指を使った体操を教わり指先の練習をしたりしました。最初は戸惑っていた児童もいましたが、徐々に慣れ、そろばんをはじいて答えを大きな声で読み上げていました。ワークシートに沿って練習問題にチャレンジしました。講師の方は、珠算教室の先生で本校の児童もお世話になっているため、休み時間にはその子たちと笑顔で話をする姿が見られました。



新補導委員会が行われました。

3月4日(水)、新補導委員会が行われました。今回は、今年度お世話になった委員の皆様と、来年度、委員になる方との引継ぎを兼ねた委員会でした。前半は、次年度の各地区の代表の方々に集まっていただき、委員長と副委員長を決めていただいた後、後半は、来年度の活動の確認が中心に行われました。地域学校協働本部について、市教育委員会地域学校協働活動推進委員からの説明を受け、本委員会も団体として登録することになりました。児童の安全な登下校には、学校と保護者・地域の皆様との連携が必要であり、学校と家庭・地域が一体となって、児童を見守り、指導・支援をしながら、安全確保に努めていかなくてはなりません。その家庭や地域の中心として動いていただくのが、補導委員の皆様になります。今後いろいろとお世話になります。また、今年度の補導委員の皆様、大変お世話になりました。



小学校最後の読み聞かせが行われました。

3月5日(木)、6年生を対象とした読み聞かせが行われました。2月に行う予定だった今年度最後の読み聞かせが感染症拡大防止のため中止となってしまったことから、6年生の読み聞かせのみお願いした活動になりました。6年生にとっては小学校最後の読み聞かせとなり、どのクラスも真剣に聞いていました。「小学校6年間で、何冊の本を読んでいたのか。」「子供たちに心に残っている本は何という本でしょうか。」と考えてしまいました。本校にとって、月に1度の読み聞かせは、子供たちの読書活動の推進につながる貴重な活動です。中学生になっても、たくさんの本に興味をもって、小学生への読み聞かせを行う生徒になって、小学校で後輩たちに読み聞かせをしてほしいと思います。



今年度の最後の委員会が行われました。

3月5日(木)、今年度の最後の委員会活動が行われました。それぞれの委員会に応じた活動を行い、一年間の反省を行いました。6年生と一緒に行う活動は最後ということで、5年生は6年生と協力しながら、校庭の縄跳び台をしまったり、花壇に新たに花を植えたり、配膳台やカバーなどの点検を行ったりしていました。今年度の反省を次年度にしっかりと引き継いでほしいと思います。

